



まさ たか

やなぎだ昌孝

市政報告

vol.6

〒630-8043 奈良市六条1丁目12-2 TEL: 0742-46-2888

<https://m-yanagida.com>



日本維新の会奈良市議団 所属

奈良市議会の柳田昌孝は今年度の市議会活動の中、路線バスをはじめ交通量が多いにもかかわらず道路幅が狭い近鉄西ノ京駅周辺の道路整備や駅前広場の早期整備を市に求めました。仲川元庸市長は道路整備について「西ノ京南北線の用地取得率は90%になり、早期に工事着手できるように努めている」とし、駅前広場は「広場の整備の必要性も感じている。地域、鉄道事業者をはじめ関係機関と協議していく」と答弁を得ました。

周辺道路や駅前広場の早期整備訴え

近鉄西ノ京駅 市長「地域や鉄道事業者らと協議へ」

近鉄西ノ京駅は、奈良県立大学附属高の生徒に加えて、県総合医療センターへ勤務する方々、患者の方々が多く利用されています。しかし周辺=写真=はバスロータ

リーへ行くため、車をすり抜けて車道を横断する状況も見受けられます。歩道が整備されていない狭い道路は、さまざまな危険性が指摘されています。

きました。市議会12月定例会の一般質問で私は駅周辺の課題と現状を説き、道路と駅前広場の早期整備を求めました。



地元の自治会、水利組合などの皆様と集まり、市のコンサルタント派遣を活用して「安全でこのような駅前に整備されたら良いな」という地域の願いを体現したイメージ図を描き、市に提案して

進めており、取得率は90%になっている現状を説明。残りの用地についても、交渉を進め、早期に工事に着手できるように努めていると答弁しました。また、駅前広場については「西ノ京駅の朝夕の混雑は十分認識しており、整備の必要性を感じている」とし、まずは道路の進捗を図りながら、地域の皆様や鉄道事業者をはじめ関係機関と協議していくと述べました。

万博を機に日帰りから宿泊へ観光の転換

今年は大阪・関西万博が開催されます。これを機会にした奈良市への誘客はもちろん、これを一過性のものではなく、リピーターにつなげていく観光戦略が必要です。特に日帰りが多い奈良観光を宿泊へと転換し、経済効果を生み出していくことを市に求めました。

市は県内の市町村や関係団体らと立ち上げた「大阪・関西万博奈良県実行委員会」の一員として、奈良県の玄関口の誘客促進を図っていきたくと説明しました。

海外向けのプロモーション活動

としては、オーストラリアからの誘客に注力していくと述べました。また、さらなる増加が見込まれるインバウンド向けに奈良らしい体験を提供するため、茶や弓道、和菓子といったテーマで新たなツアー、「奈良・西ノ京ロータスロード」共通拝観券のインバウンド向け販売を行っていくとし、リピーター確保については、今年度リリースした奈良市公式観光アプリ「SHIKA no ASHIATO」で観光客の属性や購買履歴、行動履歴などから興味を分析し、



それに合った情報を発信するなど、再訪につなげていくとしています。

持続可能な観光「サステナブルツーリズム」を実現できれば、大阪や京都と明確な差別化になり、奈良市を選択してもらうための試みを行い、宿泊増につなげていく考えを示しました。